

日頃より新名神高速道路の建設事業、そしてNEXCO西日本の事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本日から平成22年度に突入いたしました。新名神兵庫県域の事業展開について、21年度を振り返り22年度の展望をご紹介します。まず用地取得については21年度その概成を目標としたところですが、先月末で40%の取得にとどまり、工事着手が可能な兵庫県域の県有地部分をあわせると約50%弱の取得状況となっています。種々の要因が重なり目標は達成できませんでしたが、取得に向けての前進展開は確実に図られており、委託先の兵庫県土地開発公社及び神戸市土地開発公社とともにこれらの遅れを取り戻し、平成28年度の完成目標に支障とならないよう着実に用地取得を進め、22年度末には80%を超える取得を達成していく所存です。

暫定4車線設計協議につきましては、神戸ジャンクション部分の二郎自治会様と確認書の締結ができました。残る神戸市域につきましても22年度内早期の協議成立に向けて関係の自治会の皆様と協議を進めさせて頂いているところです。また、当設計協議の着手が遅れていた川西市域及び猪名川町域については昨年度終盤に各自治会の代表で構成される地区対策協議会との協議に着手することができた他、川西市域の東畦野自治会様とは正式に本協議のスタートを切ることができました。他地区においても順次協議に着手させて頂き、年度内早期の協議成立に向け努力してまいります。また、昨年度新たに事業化された宝塚サービスエリア(仮称)についても沿線関係地区の皆様との設計協議の早期完了を目指して、協議に着手してまいりますのでよろしくお願いいたします。

工事につきましては、兵庫県域で本線工事3件、工事用道路工事6件(内1件は竣工)を鋭意進めている状況であり、22年度も用地取得や埋蔵文化財調査の進展に合わせて工事着手可能となった箇所から順次工事発注を展開していく予定です。このうち神戸ジャンクション工事については、新名神本線が山陽道本線と直結させ、中国道とも各ランプで連絡させる工事であり、工事による車線の切り替え等を伴いながら長期に渡り実施する工事となります。期間中、供用中の中国道、山陽道の大規模工事規制を伴うこととなりますが、高速道路をご利用のお客様へのご迷惑を最小限にとどめ安全・安心にご利用して頂く様、工夫を凝らしてまいりますのでご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

一日も早い中国道宝塚付近の渋滞解消を目指して、そして新名神による高速道路ネットワークの充実が日本の元気を関西から発信していく力となるよう、兵庫工事事務所総勢84名も心新たに、新名神(高槻～神戸)の事業を精力的に推進してまいりますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



NEXCO 西日本 兵庫工事事務所 所長 小笹 浩司

シリーズ 新名神キーマンインタビュー (第7回) ～宝塚市 都市安全部 土橋 壽雄 部長を訪ねました～



Q1. まずは、新名神沿線の特徴や歴史などの紹介をお願い致します。

A1. 宝塚市は、「宝塚歌劇」で全国的に知られていますが、それ以外にも、手塚治虫氏が少年期に過ごされたことを記念して設置した手塚治虫記念館、安産の寺といわれる西国第24番札所の中山寺、台所の神様で親しまれている清荒神清澄寺などの古刹・名刹、更には、500年の歴史がある日本3大植木どころの山本地区、多くの洋館などが立地し独特の街並み景観を有し郊外住宅地の全国のさきがけとなった雲雀丘地区、など特色ある文化・歴史・産業等の資源が多くあります。

新名神高速道路が建設される本市の西谷地域は、貴重な自然が多く残されており、県立西谷の森公園、市立自然の家、市立桜の園といった自然体験型の里山公園や千刈水源池、川下川ダム湖などの水辺とこれらを自然歩道が縦横に連絡しています。また、芋ほり・栗ひろい農園、ボタン園やダリア園など手軽に自然や農家文化を親しむことが出来るアイテムも多いことから、休日には家族づれなど多くの行楽客が訪れており、リピーターも増加しています。

Q2. 昨年、宝塚SA(仮称)が設置されることになり、今回SICの設置について取組んでいられることになりましたが、これらの施設が整備された場合、宝塚市の産業経済活動や沿線にお住まいの方々にどのようなインパクトを与えるとお考えですか。また、市の発展に向けて新名神の整備に寄せる期待をお聞かせください。

A2. 自然豊かな西谷地域ですが、農業以外に特色ある産業はなく、人口も漸減しており少子化・高齢化が大きな地域課題となっています。また、人口密度の低さから公共公益施設や地域利便施設の立地が促進されず、唯一の公共交通手段である西谷田園バスも路線の維持に苦慮しているなど、地域の生活環境の向上も大きな課題となっています。

平成2年以降、兵庫県において進められていた宝塚北部新都市計画への期待は大きなものがありましたが、その後の経済社会情勢の変化から、新都市計画についても平成9年に進捗調整となりました。現在は具体的な進展が見られない中で、西谷地域では、新名神高速道路にSAが設置されることにより、地域産業の振興、雇用機会の確保や地域住民も利用できる利便施設の整備を待望するとともに、SICが設置され広域との交流・連携が大きく前進することで、地域の安全・安心のまちづくりの促進に期待が大きく膨らんでいます。

さらに、SAについては、西谷地域のみならず本市全体の観光・文化・産業等の全国に向けた情報発信の新たな拠点となり、SICについては、災害発生時など中国自動車道の宝塚ICとの代替機能にも期待でき、本市全体の利便性や安全性の向上に寄与するものと期待しています。

Q3. 今後事業を進めるにあたって、弊社に対する何か要望などはありますか。また今後、新名神事業を円滑に進める上で、宝塚市の役割としてどのようなこととお考えでしょうか？

A3. 平成28年度の開通に向け、円滑な事業の進捗を図っていただくこと、また、宝塚SA(仮称)に設置をめざすSICの実現に向けて、全面的なご協力とご支援をお願いしたいと考えています。本市としましても、目標年次の開通に向けて、地元住民や関係者にご理解・ご協力を得よう努めるとともに、兵庫新名神高速道路建設促進期成同盟会の会長市として、西日本高速道路(株)、兵庫県、沿線関係市町の担当者とともに事業の促進のため連携の強化を図ってまいります。

一方で、西谷地域の地元では、SAの設置にあわせて地元農産物の安定供給やSA運営への連携・協力態勢の構築などを模索する動きも始まりつつあります。また、宝塚商工会議所など産業団体においても、SAの集客力に大きな希望と期待を抱いており、活用に向けた検討なども始まっています。市としましても、庁内関係部署が連携してこのような取り組みを支援し推進していきたいと考えていますので、西日本高速道路(株)におかれましては、この方面でもご協力いただけますよう、重ねてお願いいたします。

※SIC(スマートインターチェンジ):SA・PA・BSから乗り降り出来るよう設置されたIC。ETC搭載車両限定のICです。



【写真】左:土橋 部長 右:インタビュアー NEXCO兵庫(工)三枝



宝塚市 都市安全部 道路建設課 土橋部長 他道路建設課の皆さん

ドライブにはラブがいる。

「DRIVE&LOVE」プロジェクト始動!

DRIVE&LOVEプロジェクトとは?

みんなで一緒に交通事故ゼロを目指すプロジェクト! あなたも、企業の皆様も参加しませんか?

「DRIVE&LOVE」プロジェクトは、ドライバーの皆様はもちろんのこと、広く一般企業、メディア、有識者、著名人など、多くの方々とのコミュニケーションを通して、運転への意識を変えていこうという、新しい形の交通安全対策プロジェクトです。これまで「交通事故は他人事」と思いがちだった人々のハートに、日常的な気づきの機会を提供し、交通事故を限りなくゼロへと近づけていくことを目指します。

「DRIVE&LOVE」では交通安全適性診断などの参加型キャンペーンやチャリティイベントなどを通じた、交通遺児育成基金への募金活動などを企画しています。

ただいま、http://drive-love.jpでサポーター募集中!

新名神高速道路の役割は?

新名神高速道路の役割は、道路に十分なゆとりを有し、より安全かつ快適な走行環境を確保することを理念にしながら新名神高速道路を造ることが、交通安全対策の一環になるものと考えています。また、事務所の取り組みでこのような広報活動を行い、広くこのプロジェクトを皆様に知ってもらうことにより、運転に対する意識を変えるきっかけになって、「安全運転」がカッコイイことになれば良いと思います。

ドライブにはラブがいる。

あなたも「愛する人、思い出してから運転」はじめませんか。



DRIVE & LOVE

高速道路の100%安全安心を目指す NEXCO西日本はDRIVE & LOVEプロジェクトに賛同しています。

http://drive-love.jpにてサポーター募集中(無料) DRIVE&LOVE 検索

この道が、関西の流れを変える。



2010年3月20日(土)全線開通

第二京阪道路

門真JCT ~ 枚方東IC

- ポイント1 時間短縮 大阪⇄京都約1時間
ポイント2 渋滞緩和 周辺道路の
ポイント3 環境保全 周辺の植栽計画など

【新名神高速道路 沿線紹介 ～宝塚市・中山寺、清荒神、小浜宿～】

新名神高速道路の沿線紹介の第2回目は、宝塚市の歴史的名所である『中山寺～清荒神清澄寺～小浜の首地藏』をお届けします。

冷たい風に桜の花が揺れる3月末、まずは安産の仏さまとして知られる中山寺、そして車で10分程走ったところにある「火の神さま」として有名な清荒神清澄寺へ。広大な敷地の中に古い歴史を感じる重厚な木造建築、樹齢百年を超える境内の古木、整備された参拝道、どれをとっても素晴らしいものでした。残念ながらその日は休業でしたが、参道にはたくさんの出店が並び、週末や例祭日の身動きできないほどのにぎわいが目に見えるようです。

社寺仏閣で手を合わせ、自分の願い事を振り返ってなんだか心が洗われるような気持ちになりました。最後に以前から気になっていた「首地藏」を目指して小浜宿へ。江戸時代に栄えたという宿場町の当時の面影を残す建物を横目に



【清荒神清澄寺】

「百聞は一見にしかず」。私も関西で生まれ育ち、もちろん名称は知っていましたが、どの地も今まで訪れたことはありませんでした。あらためて自分の目でみて感じるこの大切さを思う近場の観光ツアーとなりました。みなさんも是非身近にある日本の財産に足を運んでみてください。たくさんの小さな感動がありますよ。

◎編集部より:沿線紹介の記事は、毎回違う者がその場所へ赴き感じたことを書いています。その人その人違う味があり、楽しんでいただけたらと思います。



【中山寺】



【首地藏】

【小浜宿】